

2009年11月



**東洋大学生命科学部シンポジウム
～ 科学が拓く地球の未来～のご案内**

11月27日（金）東洋大学板倉キャンパス

東洋大学生命科学部（群馬県邑楽郡板倉町 / 学長：竹村牧男）は、11月27日（金）に、板倉キャンパスにて「東洋大学生命科学部シンポジウム ～科学が拓く地球の未来～」を開催いたします。

東洋大学生命科学部は、1997年に生命科学科1学科として群馬県・板倉キャンパスに開設されましたが、近年の生命科学を取り巻く状況をふまえ、2009年4月から生命の3大テーマである「生命（いのち）」「環境」「食」の各分野を独立。「生命科学科」に加えて「応用生物科学科」「食環境科学科」の2学科を新設し、教員・研究者の陣容も新たに、幅広い生命科学にかかわる分野を包含する新しい学部として生まれ変わりました。

独立行政法人 宇宙航空研究開発機構（JAXA）大島博氏を迎えての特別講演のテーマである宇宙医学のほか、農業技術、人間の脳に関する研究、深海に求める新しい資源、国内自給率ゼロのナタネの自生など、生命科学に関わるさまざまな研究の一端を紹介し、生命科学という学問の魅力を伝えます。

近隣地域にお住まいの方はもちろん、多くの皆様にご来場いただきたくご案内するとともに、ぜひ取材をご検討ください。

記

日時：2009年11月27日（金）13:00～17:30

会場：東洋大学板倉キャンパス 1102教室 / 第1食堂

群馬県邑楽郡板倉町泉野1-1-1 東武日光線「板倉東洋大前駅」下車徒歩10分

（車でお越しの場合）国道354線を東（古河方面）へ「小保呂交差点」を左折

参加無料、申込は不要、聴講希望の方は、直接会場へお越しください

主催：東洋大学生命科学部

シンポジウムの内容および当日のお問い合わせ先

東洋大学板倉事務部教学課 担当：吉田 邦子

TEL：0276-82-9170 E-mail mlitakyougaku@ml.toyonet.toyo.ac.jp

取材および記事掲載に関するお問い合わせ先〔当ニュースの発信元〕

東洋大学総務部広報課 担当：川俣 英里

TEL：03-3945-7571 E-mail：mlkoho@ml.toyonet.toyo.ac.jp

〔プログラム〕

第1部 (会場 / 1102番教室)

13:00～13:10 挨拶 生命科学部長 清水 範夫

13:10～13:50 特別講演

「宇宙飛行士の健康管理と宇宙医学研究

～若田フライトの運動プログラムと骨量減少対策～」

独立行政法人 宇宙航空研究開発機構

有人宇宙環境利用ミッション本部 有人宇宙技術部

宇宙医学生物学研究室 研究領域リーダー 大島 博 氏

14:10～14:30

「農業の現場で役立つ技術の開発」

群馬県農業技術センター 所長 山田 正幸 氏

14:30～14:50

「脳血流の揺らぎと睡眠」

理工学部 生体医工学科 教授 田中 尚樹

14:50～15:10

「社会能力に関連する人の行動特徴の抽出」

生命科学部 生命科学科 教授 川口 英夫

15:30～15:50

「新しい遺伝子資源を求めて ～深海・地殻内から、そして、北関東へ～」

生命科学部 応用生物科学科 准教授 三浦 健

15:50～16:10

「野に咲くGMナタネの花」

生命科学部 食環境科学科 教授 佐々木 和生

第2部 (会場 / 第一食堂) お茶を飲みながら自由にご見学いただけます

16:10～17:30 サイエンス・カフェ

ポスターセッション 学科紹介ブース

研究に関する質問もお気軽にどうぞ。

東洋大学生命科学部

「生命科学科」「応用生物科学科」「食環境科学科」

<http://www.toyo.ac.jp/lsc/>

生命科学科 (入学定員: 100名)
いのちの不思議を探究し、先端的バイオサイエンスの
専門知識や技術を習得する

応用生物科学科 (入学定員: 100名)
生物がもっている優れた機能を応用して、
環境にやさしいものづくりを学び、実務に活かす

食環境科学科 (入学定員: 100名)
食を通じて健やかな生命を育み、安心・安全な食環境
を実現する食の総合科学のプロフェッショナルを目指す



板倉キャンパス新実験棟イメージ
2010年4月完成予定